



人の心をつなぐ素晴らしい言葉に胸打たれた。

「全米オープンテニス2016」の男子シングルス決勝で、スタン・バブリンカ(スイス)が昨年の覇者で世界ランキング1位、ノバク・ジョコビッチ(セルビア)を破り、初優勝した。

日本テニス界で前人未踏の偉業を達成し続けている錦織圭も敗れた強豪、バブリンカだが、彼は優勝インタビューで、「まず、ノバクについてお話ししたい。ノバク、あなたは偉大なチャンピオンです。あなたのおかげで今の私があると思っています。ノバク、準優勝おめでとうございます」と語り始めた。

たった今まで死闘を繰り広げたライバルに贈った予想外のエールにスタジアムは再び大喝采の渦となり、私も思わず涙があふれた。

「自分は世界のナンバーワンではありませんが、優勝を

真のチャンピオンは人の心をつなぐ人



考えず、一つ一つすべてを注ぎ込んでやってきました」。真摯な彼の言葉は世界中の人々の胸に深く響いた。

テニスは1年を通じ、7、8カ月プレーし続けなければならない厳しいスポーツで、彼は2014年、グランドスラム大会出場36回目にして全豪オープンで初優勝を果たしたが、その際は01年以降、最年長の初優勝者でもあった。

私がいつも注目するのはゲームの勝敗の興奮より、いかなる日々の練習がここまで人を確実に成長させ、磨き上げるのかということだ。スポーツも芸術もハレの日の舞台は栄光に満ちているが、その瞬

間を作るには気の遠くなる鍛錬の日々がある。そして、ハレの舞台で勝ち、称賛を浴び、成功を得たとき、まるで神の啓示のような言葉が自然とあふれ出る人間こそ、真のチャンピオンなのだ。

人を尊び、愛する心は自分を育てる。また、自身が成長してこそ、真に人を愛せる。人と人の垣根を越え、人の心をつなぐ人、友愛によって平和を作れる人…。テニスファンでなくともスポーツの勝敗以上に大きなギフトに感謝した1日だった。

(さとう・しのぶ＝声楽家)
—毎月第3金曜日掲載

